

天海禪師の遺言

相馬御風

(一)

大正二年五月十三日 越後刈羽郡平井村の福  
勝寺に遷化(歿)した生見天海禪師は、たゞかに  
古来越後の生んだ才数の僧侶中の一人であつ  
た。

禪師諱は皎月、名は天海、別を半雲と云

つた。天保四年十二月二十三日 越後国刈羽郡  
平井村星野兵衛の三男として生れ、九歳の  
時に同郡平井村福勝寺俊成和者に就て剃髪し  
た。禪師が臥谷極宗禪師の徒を継いで、かの  
南無院一の名刹といはれる相模相田原の長年  
寺に<sup>に</sup>獨住第四世としてこの席を重<sup>に</sup>たのは五  
十三歳の時であつた。

雨来十七年<sup>に</sup>寺に<sup>に</sup>あつて此家の交代に  
感あるところあつて、室如として石川素童禪